

職員対象 学校アンケート結果<前期>

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:どちらとも言えない D:あまりあてはまらない E:あてはまらない

No.	質問項目	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	指標
1	平日頃より生徒をよく観察し、全校集会や学年集会、HRなどでいじめの起因となるような日々の言動を見直させる声掛けを行うことでいじめを根絶する。	11	12	0	0	0	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	0.0%	87.0
2	相談窓口を明確化し、不安や悩みを相談しやすい学校環境を整える。	10	11	1	0	0	45.5%	50.0%	4.5%	0.0%	0.0%	85.2
3	玄関ホールに一日の予定を「見える化」することにより、落ち着いた学校生活を送れるようにする。	11	8	3	0	0	50.0%	36.4%	13.6%	0.0%	0.0%	84.1
4	落ち着いて学習できる環境を整えるため、毎日教室・廊下の巡視を行い、整理整頓を徹底させる。	4	12	5	1	0	18.2%	54.5%	22.7%	4.5%	0.0%	71.6
5	毎日の昇降口での遅刻指導や行事毎の移動の声掛けを行い、時間に対する意識の希薄さの改善を図る。	4	14	4	0	0	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	75.0
6	地域と連携した体験的な学びを目的に、各授業で年に1回はフィールドワークに行く。	2	7	9	2	1	9.5%	33.3%	42.9%	9.5%	4.8%	58.3
7	すべての教員が授業公開及び他教科の授業見学を行い、相互評価をし授業の改善を図る。	7	8	4	3	0	31.8%	36.4%	18.2%	13.6%	0.0%	71.6
8	授業見学を参考にして、教科横断型学習を実践するため、積極的に他教科との連携授業を研究する。	0	7	11	3	0	0.0%	33.3%	52.4%	14.3%	0.0%	54.8
9	各授業で、ICT機器を活用した授業計画を立て実践する。	7	10	3	1	0	33.3%	47.6%	14.3%	4.8%	0.0%	77.4
10	学校は、総合学科の特色を生かし、生徒が自ら課題を発見し解決する力が身に付くように指導をしている。	6	12	4	0	0	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%	77.3
11	基礎学力向上および学習習慣確立のために、特別講座において全校統一でSPIIに取り組みさせる。	18	3	1	0	0	81.8%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%	94.3
12	「産業社会と人間」において、自分の過去および未来について考え、自分史を作らせる。(1学年)	13	4	2	0	0	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	89.5
13	先を見通す力を育成し、自分自身の活動を振り返り自己理解を深めるために、生徒一人ひとりにスケジュール帳を持たせ、定期的に記録させる。(1学年)	13	5	3	0	0	61.9%	23.8%	14.3%	0.0%	0.0%	86.9
14	公務員志望の生徒対象に、土曜日や放課後を利用して公務員対策講座や模擬試験等を実施する。	11	6	4	1	0	50.0%	27.3%	18.2%	4.5%	0.0%	80.7
15	生徒会として、ボランティア活動などの社会的活動や地域・小中学校との交流を通して、生徒の自主性を育てる。年7回程度の活動を目標とする。	1	11	7	2	0	4.8%	52.4%	33.3%	9.5%	0.0%	63.1
16	部活動において生徒の自主的・自発的な参加を促し、加入率の増加や新設クラブ等の部活動の活性化を図る。その成果をHP等を使い校外へ発信する。	6	13	3	0	0	27.3%	59.1%	13.6%	0.0%	0.0%	78.4
17	「蘇南学」として、総合研究で「社会と対話する」というテーマのもと、地域に飛び出し対話する中で、自らの将来につながる地域理解を深める。	7	9	4	0	0	35.0%	45.0%	20.0%	0.0%	0.0%	78.8
18	「蘇南学」として、系列や生徒会で地域の行事に積極的に参加することにより、地域が求めているものを探り、地域社会に貢献する。	11	4	6	0	0	52.4%	19.0%	28.6%	0.0%	0.0%	81.0
19	上記の実現のため、地域人材を積極的に活用する。	11	8	3	0	0	50.0%	36.4%	13.6%	0.0%	0.0%	84.1
20	HP・蘇南通信・広報なぎそ等で地元地域に適切かつ敏速な情報発信をする。	13	6	3	0	0	59.1%	27.3%	13.6%	0.0%	0.0%	86.4
21	新しい学校案内・PRビデオを作成し、中学校訪問・体験入学・授業公開を通して、本校の教育活動を紹介し、生徒募集に繋げる。	14	6	2	0	0	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	88.6

教職員対象アンケート調査

1 実施日時 平成30年9月20日～27日

2 回収率 89.7%

職員対象 学校アンケート結果〈後期〉

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:どちらとも言えない D:あまりあてはまらない E:あてはまらない

No.	質問項目	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	指標
1	平日頃より生徒をよく観察し、全校集会や学年集会、HRなどでいじめの起因となるような日々の言動を見直させる声掛けを行うことでいじめを根絶する。	10	16	0	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	84.6
2	相談窓口を明確化し、不安や悩みを相談しやすい学校環境を整える。	16	8	2	0	0	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	88.5
3	玄関ホールに一日の予定を「見える化」することにより、落ち着いた学校生活を送れるようにする。	15	11	0	0	0	57.7%	42.3%	0.0%	0.0%	0.0%	89.4
4	落ち着いて学習できる環境を整えるため、毎日教室・廊下の巡視を行い、整理整頓を徹底させる。	9	17	0	0	0	34.6%	65.4%	0.0%	0.0%	0.0%	83.7
5	毎日の昇降口での遅刻指導や行事毎の移動の声掛けを行い、時間に対する意識の希薄さの改善を図る。	16	9	0	0	0	64.0%	36.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.0
6	地域と連携した体験的な学びを目的に、各授業で年に1回はフィールドワークに行く。	2	8	8	5	2	8.0%	32.0%	32.0%	20.0%	8.0%	53.0
7	すべての教員が授業公開及び他教科の授業見学を行い、相互評価をし授業の改善を図る。	8	8	7	3	0	30.8%	30.8%	26.9%	11.5%	0.0%	70.2
8	授業見学を参考にして、教科横断型学習を実践するため、積極的に他教科との連携授業を研究する。	2	6	13	4	0	8.0%	24.0%	52.0%	16.0%	0.0%	56.0
9	各授業で、ICT機器を活用した授業計画を立て実践する。	5	18	2	0	0	20.0%	72.0%	8.0%	0.0%	0.0%	78.0
10	学校は、総合学科の特色を生かし、生徒が自ら課題を発見し解決する力が身に付くように指導をしている。	9	9	7	0	0	36.0%	36.0%	28.0%	0.0%	0.0%	77.0
11	基礎学力向上および学習習慣確立のために、特別講座において全校統一でSPIIに取り組みさせる。	18	6	0	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.8
12	「産業社会と人間」において、自分の過去および未来について考え、自分史を作らせる。(1学年)	15	6	2	0	0	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%	89.1
13	先を見通す力を育成し、自分自身の活動を振り返り自己理解を深めるために、生徒一人ひとりにスケジュール帳を持たせ、定期的に記録させる。(1学年)	12	9	2	0	0	52.2%	39.1%	8.7%	0.0%	0.0%	85.9
14	公務員志望の生徒対象に、土曜日や放課後を利用して公務員対策講座や模擬試験等を実施する。	8	9	7	0	0	33.3%	37.5%	29.2%	0.0%	0.0%	76.0
15	生徒会として、ボランティア活動などの社会的活動や地域・小中学校との交流を通して、生徒の自主性を育てる。年7回程度の活動を目標とする。	2	11	8	3	0	8.3%	45.8%	33.3%	12.5%	0.0%	62.5
16	部活動において生徒の自主的・自発的な参加を促し、加入率の増加や新設クラブ等の部活動の活性化を図る。その成果をHP等を使い校外へ発信する。	3	14	6	2	0	12.0%	56.0%	24.0%	8.0%	0.0%	68.0
17	「蘇南学」として、総合研究で「社会と対話する」というテーマのもと、地域に飛び出し対話する中で、自らの将来につながる地域理解を深める。	8	15	2	0	0	32.0%	60.0%	8.0%	0.0%	0.0%	81.0
18	「蘇南学」として、系列や生徒会で地域の行事に積極的に参加することにより、地域が求めているものを探り、地域社会に貢献する。	6	18	2	0	0	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%	0.0%	78.8
19	上記の実現のため、地域人材を積極的に活用する。	6	17	3	0	0	23.1%	65.4%	11.5%	0.0%	0.0%	77.9
20	HP・蘇南通信・広報なご等で地元地域に適切かつ敏速な情報発信をする。	18	8	0	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	92.3
21	新しい学校案内・PRビデオを作成し、中学校訪問・体験入学・授業公開を通して、本校の教育活動を紹介し、生徒募集に繋げる。	18	7	1	0	0	69.2%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%	91.3

教職員対象アンケート調査

1 実施日時 平成31年1月30日～2月7日

2 回収率 89.7%